

U23世界選手権レポート (6)



上: 大会掲示板
右下: オープニングセレモニーの様子
左下: プロブディフの町並み

7/20（月）-7/21（火）

水上トレーニング3日目

7月20日（月）

藤井団長・中村ドクターが合流して選手・スタッフ総勢18名体制に。コースは勿論、ホテルや街にも各国の選手が増え、にぎやかになってきました。同じホテルには韓国チームやドイツチームも宿泊しています。ドイツチームはなんと、スタッフ含め104名の大集団のようです。

7:00から朝食を摂った後、コースでの昼食の時間に合わせて9:30にホテルを出発。毎回トレーニング前に担当コーチとのミーティングでその日の内容を確認。会場のエルゴメーターを使用しての調整も可能となっています。

今日は予定開始時刻の11:30よりも早く昼食が提供されたためゆつくりと食べることができました。多くの種類の果物と生野菜、主食にパスタやマカロニとパン、数種類の肉・魚料理が各自ピュッフェ形式で毎日提供されます。3年前に世界選手権が開催され慣れているボランティアスタッフも多く、また今後もヨーロッパ選手権や世界選手権の開催予定があるだけあり、会場の準備・運営はスムーズに進んだように思われます。15:00からはpre-team manager meetingが行われ、明日行われるopening ceremonyに関する連絡事項が伝えられました。

午後は17:30にホテルを出発、19:00コース発で戻り夕食を摂りました。体重が極端に減ることのないよう、ピュッフェ形式ですが食事内容にも気を使っています。日本食が恋しくなると白米に味噌汁・目玉焼きに醤油…等を食べる選手の姿も。ほぼ入れ違いで遠征していたシニアの選手から譲ってもらった味噌汁や調味料もありがたくいただいています。この遠征もあつという間に折り返したかと思えば明後日からレースです。

7月21日（火）

午前は9:30発でコースへ向かい、各自エルゴ等でアップをした後乗艇。船台もコースも非常に混みあっています。二周ほどの乗艇の中でも、最終確認としてスピードをチェックすることができました。

昼食をとってホテルに戻った後は夕方は各自調整。19:00～行われたopening ceremonyにJAPANチームも参加してきました。こちらでは日が長いため、夜8時近くなっても明るく35℃近い暑さの中で行われましたが、その気候以上にブルガリアの人々や欧州チームが会場を盛り上げてくれていて、会場が一体となり熱気に満ちていました。レース直前ではありますが選手も非常に楽しい時間を過ごせたようで、参加してよかったと思います。

明日7/22（水）の日本チームのレースは、
LM2- Heat 3 17:10 日本時間23:10 発艇
LM2X Heat 2 17:30 日本時間23:30 発艇
となっています。

いよいよ開幕です。応援宜しくお願いします！



オープニングセレモニーでの様子